

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪ペピイ動物看護専門学校
設置者名	学校法人宮崎学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	動物看護学科	夜・通信	270 時間	160 時間	
	動物看護総合学科	夜・通信	420 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式ホームページで情報公開 URL : https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪ペピイ動物看護専門学校
設置者名	学校法人宮崎学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公式ホームページで情報公開 URL: https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	特定非営利活動法人 事務局長（2007.8.7～）	2020.4.1～ 2024.3.31	就職関係のチェック
非常勤	会社役員（1994.4.1～）	2020.4.1～ 2024.3.31	組織運営のチェック
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪ペピイ動物看護専門学校
設置者名	学校法人宮崎学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月より見直しを開始 ・月1回の教務委員会で検討 ・翌年2月末までに確定 <p>授業計画(シラバス)の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の見直し開始より作成 ・翌年2月末に確定し、授業計画(シラバス)の完成 ・3月中にホームページにて公表 	
授業計画書の公表方法	<p>公式ホームページで情報公開</p> <p>URL https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果については次のように評価をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、レポート等、実技試験、筆記試験等を評価内容としている。 ・成績評価は評価内容を評点化し、評点により「優」「良」「可」「不可」と評価し、「可」以上を合格としている。 ・次の①と②の基準を満たす場合に認定する。 <ul style="list-style-type: none"> ①成績評価が「可」以上 ②出席率が75%以上 <p>この評価については、予め学生には伝えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) →別途資料提出</p> <p>①授業科目ごとに「出席状況」「小テスト」「レポート」「実技試験」「学期末試験」の評価割合を算定する。</p> <p>②「出席状況」等を次の成績評価により評点化している (100 点満点) 100～80→優、79～70→良、69～60→可、59 以下→不可</p> <p>③各学期末に各科目の成績を合計し、個人ごとの総合成績を評点化している。</p> <p>④上記③より評点分布を把握し、公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	公式ホームページで情報公開 URL https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定については、後期定期試験終了後、次の要件を満たす場合に認定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所定科目の評価基準「可」以上が 8 割以上に達していること。 ・ 指定の実習の評価が評価基準「可」以上を取得していること。 ・ インターンシップの評価が評価基準「可」以上を取得していること。 ・ 所定の学費を完納していること。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	公式ホームページで情報公開 URL https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪ペピイ動物看護専門学校
設置者名	学校法人宮崎学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	公式ホームページで情報公開 https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
収支計算書又は損益計算書	公式ホームページで情報公開 https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
財産目録	公式ホームページで情報公開 https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
事業報告書	公式ホームページで情報公開 https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
監事による監査報告（書）	公式ホームページで情報公開 https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	動物看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2420 単位時間/単位	1226時間 単位時間 /単位	279時間 単位時間 /単位	915時間 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		143人	0人	15人	35人	50人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月より見直しを開始 ・月1回の教務委員会で検討 ・翌年2月末までに確定 <p>授業計画（シラバス）の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の見直し開始より作成 ・翌年2月末に確定し、授業計画（シラバス）の完成 ・3月中にホームページにて公表

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学修成果については次のように評価をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、レポート等、実技試験、筆記試験等を評価内容としている。 ・成績評価は評価内容を評点化し、評点により「優」「良」「可」「不可」と評価し、「可」以上を合格としている。 ・単位認定については、次の①と②の基準を満たす場合に認定する。 <ul style="list-style-type: none"> ①成績評価が「可」以上 ②出席率が75%以上 <p>この評価については、予め学生には伝えている。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定については、後期定期試験終了後、次の要件を満たす場合に認定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の評価が、所定の評価基準の「可」以上が8割以上に達していること。 ・指定の実習の評価が評価基準の「可」以上を取得していること。 ・インターンシップの評価が評価基準の「可」を取得していること。 ・所定の学費を完納していること。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>次とおり独自の支援制度を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別奨学生制度（学費減免） ・遠隔地学生支援制度（家賃補助） ・下宿生食費補助制度（食費補助）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
73人 (100%)	0人 (0%)	73人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 動物病院、ペットショップ等			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナーの開催、担任によるマンツーマンでの就職指導等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 認定動物看護師資格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
155 人	7 人	4.5%
(中途退学の主な理由) 病症（精神的疾病含む）、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床心理士によるカウンセリング、分納・延納の認定		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門課程	動物看護総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	3664 単位時間/単位	2024 時間 単位時間 /単位	505 時間 単位時間 /単位	1135 時間 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
210 人	226 人	0 人	15 人	35 人	50 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画（シラバス）の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月より見直しを開始 ・月1回の教務委員会で検討 ・翌年2月末までに確定 <p>授業計画（シラバス）の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の見直し開始より作成 ・翌年2月末に確定し、授業計画（シラバス）の完成 ・3月中にホームページにて公表
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学修成果については次のように評価をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席状況、レポート等、実技試験、筆記試験等を評価内容としている。 ・成績評価は評価内容を評点化し、評点により「優」「良」「可」「不可」と評価し、「可」以上を合格としている。 ・単位認定については、次の①と②の基準を満たす場合に認定する。 <ul style="list-style-type: none"> ①成績評価が「可」以上 ②出席率が75%以上 <p>この評価については、予め学生には伝えている。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業の認定については、後期定期試験終了後、次の要件を満たす場合に認定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目の評価が、所定の評価基準の「可」以上が8割以上に達していること。 ・指定の実習の評価が評価基準の「可」以上を取得していること。 ・インターンシップの評価が評価基準の「可」を取得していること。 ・所定の学費を完納していること。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>次とおり独自の支援制度を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別奨学生制度 (学費減免) ・遠隔地学生支援制度 (家賃補助) ・下宿生食費補助制度 (食費補助)

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアデザインセミナーの開催、担任によるマンツーマンでの就職指導等			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
152人	6人	3.9%
(中途退学の主な理由) 成績不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 臨床心理士によるカウンセリング、分納・延納の認定		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
動物看護 学科	200,000 円	800,000 円	530,000 円	
動物看護 総合学科	200,000 円	800,000 円	610,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
特別奨学生制度 (学費減免)、遠隔地学生支援制度 (家賃補助)、 下宿生食費補助制度 (食費補助)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公式ホームページで情報公開 URL: https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>1. 評価委員の構成 獣医師、動物関係団体の役職者、動物関連商品企業の役職者及び卒業生で構成されている。</p> <p>2. 評価の項目 動物の自己コントロール、就職後の離職率、近隣施設との連携、退学率</p> <p>3. 評価結果の活用 ①評価結果を学内カリキュラム委員会にて検討し、カリキュラムに反映している。 ②近隣施設と打ち合わせを実施し、更なる協力を検討している。 ③臨床心理士に相談できる環境を整えた。</p> <p>外部委員から受けた助言・提言を取りまとめて本校のホームページにおいて学校関係者評価報告書として公表するとともに、委員会で受けた助言・提言を本校の教育活動と学校運営に反映させ、実践的かつ専門的な職業教育を行うことを目的に、本校運営会議において重点課題とその改善方策について協議、決定し、改善に取り組むことを基本方針とする。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
新山 亮 (ごんた動物病院院長)	2019. 4. 1～2021. 3. 31 任期更新	獣医療関係者
淡路 俊喜 (たんぼぼ動物病院院長)	2019. 4. 1～2021. 3. 31 任期更新	獣医療関係者
西澤 亮治 (特定非営利活動法人 動物愛護社会化推進協会事務局長)	2019. 4. 1～2021. 3. 31 任期更新	関連分野企業等 関係者
平尾 泰久 (新日本カレンダー株式 会社常務取締役)	2019. 4. 1～2021. 3. 31 任期更新	関連分野企業等 関係者
上川 真緒 (大阪ペピイ動物看護専 門学校卒業生)	2019. 4. 1～2021. 3. 31 任期終了	学校卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公式ホームページで情報公開 URL: https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/
第三者による学校評価 (任意記載事項) JAMOTE 認証サービス株式会社 登録日:平成 29 年 2 月 10 日 URL : https://www.peppy.ac.jp/

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公式ホームページで情報公開 URL: https://www.peppy.ac.jp/school/koukai/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	大阪ペピイ動物看護専門学校
設置者名	学校法人宮崎学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		36人	35人	37人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	25人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				37人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。